

1 題材 「友達って・・・」
学級活動(2) イ よりよい人間関係の形成

2 評価基準

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
学級や学校の生活においてお互いのよさを見付け、違いを尊重し合い、仲よくしたり信頼し合ったりしながら、友達の大切さや、自分のことを大切に思ってもらえることは、どういうことかを理解する。	自分らしいあり方の実現に向けて、現在の自己についての課題を見いだすことができる。主体的に学習に取り組み、ありたい自分について考え、意思決定して実践している。	ありたい自分の姿を見通したり、これまでの生活や学習を振り返ったりしようとしている。友達の大切さの意義を意識し、友達と関わる過程を通して、自己理解を深めようとしている。

3 主題について

(1) 児童の実態

本校の第3学年*組の児童は、前向きで、何事も一生懸命に取り組むことができる。また、「相手の立場になって考え、家族みたいに思い合える一人一人を大事にできる大好きなクラス」という学級目標の通り、相手を思いやれる温かい雰囲気醸成できている。事前に行った自己肯定感に関する意識調査（令和4年*月*日実施）でも、「自分にはよいところがある」90.9%、「難しいことでも頑張って挑戦する」100%、「クラスの人のために手伝いをする」84.9%、「ありがとうを言われることがある」97%という高い結果であった。その一方で、「自分が好き」69.7%、「クラスの人役に立っていると思う」60.6%、「クラスの中で大切な一員である」57.5%の項目で低い結果となった。このことから、互いに協力し合い、自分の力を学級全体のために役立てようとしているが、手伝いをしたり「ありがとう」のやり取りをしたりするだけでは、児童の中で人の役に立ったという実感を伴うまでは至っていないことが分かった。それによって、学級が一人一人の児童にとって存在感を実感できる場として十分に機能しておらず、児童相互のよりよい人間関係の向上に課題があると考えられる。

(2) 題材設定の理由

今回、児童の実態を受けて、自分をクラスの大切な一員だと思えることができるために、取り組むことを意思決定することにより、温かな人間関係を形成しようとする態度を養うことができると考え、本題材を設定した。授業の導入では、意識調査結果の数値が高い項目から低い項目の順で示し、児童を揺さぶることで「どうして自分を大切だと思えていないのか」という問いの原因を考え始める手立てとする。そうすることで、友達を大切に思っている反面、自分事となると大切に思えていない実態をより実感させ、ねらいに迫っていきたい。さらに、振り返りシートでは学習時だけでなく、帰りの会で一日の振り返りを行えるようにし、ありたい自分に近付いているか毎日自己評価する。現地研修の最後の日には、教師からのメッセージを残すことで、これからの2か月間、継続的に取り組めるような気持ちにつなげていく。これらの取組を通して、一人一人の児童にとって存在感を実感できる場として機能させ、児童相互のよりよい人間関係の向上を図っていく。

4 指導と評価計画【学級活動（2）イ よりよい人間関係の形成】

時間	ねらい・学習活動	目指す児童の姿		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
帰りの会	<p>「クラスや自分について考えてみよう」</p> <p>○ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスや自分についてのアンケートを通して、クラスのことやクラスでの自分を知る。 <p>○活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスや自分の思いをアンケート調査し、自分を見つめ直す機会とする。 		自分の集団の中での関わりについて考え、現在の自己についての課題を見いだすことができる。	友達の大切さについて、考えを深めようとしている。
本時	<p>「友達って・・・」</p> <p>○ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達は自分にとってどんな存在なのかを知り、これからの自分が取り組むべきことを意思決定し、よりよい人間関係づくりにつなげる。 <p>○活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の生活を振り返り、友達の大切さや素晴らしさに気付き、自分のことを大切に思ってもらうために取り組むことを意思決定し、振り返りシートに記入する。 	友達の大切さや、自分のことを大切に思ってもらえることかをどういうことかを理解している。	集団での話し合い活動を通して、ありたい自分について考え、意思決定している。	友達の大切さの意義を意識し、友達と関わる過程を通して、自己理解を深めようとしている。
帰りの会	<p>「自分が頑張ったことの振り返りをしよう」</p> <p>○ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頑張ると意思決定したことを実践できたか振り返る。 <p>○活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに達成状況を記入する。 			現在の自分の生活のあり方を振り返るとともに、これからの生活や児童相互のよりよい人間関係づくりに役立てようとしている。

5 本時の展開

	児童の活動	○目指す児童の姿 ※指導上の留意点
導入 (つかむ) (さぐる)	<p>1 アンケート結果から気付いたことを発表する。</p> <p>2 友達は自分にとってどのような存在なのかを振り返り、児童の意見を電子黒板を用いて全体で共有する。 友達って・・・ 大切、一緒に遊んでくれる、助けてくれる、優しくしてくれる、一緒に悩んでくれる、けんかしてしまうこともある。</p>	<p>※ICT を使用し、アンケートの結果を知らせ、友達存在の大きさについての意識を高める。</p> <p>※アンケートの結果や発言の内容から、友達の大切さの意義について、振り返ることができるようにする。</p> <p>※全ての児童に発言を求めるのではなく、友達の意見に同調することで自分の意見としてよいこととする。</p> <p>○友達の大切さについて理解している（知識・技能）【観察・発言】</p>
展開 (見つける)	<p>3 自分のことを大切な一人だと思っていない児童が多くいることを知り、100%に近付けるためには、どうしたらいいか考え、短冊に書く。</p>	<p>※100%に近付けるための方法は一般的なもので、自分の考えではなくてよいことを伝える。</p> <p>※マイナスな面だけでなく、プラスな面をより伸ばすという発想でもよいと助言する。</p> <p>※自分のことを大切な一人だと思っている児童は、そう思っていない児童の気持ちになって考えるよう声を掛ける。</p> <p>※他の児童の参考になるような事項があれば、本人の同意を得て紹介して、決めるための手立てにできるようにする。</p>
終末 (決める)	<p>4 話し合った内容を踏まえて自分ができることを決め、振り返りシートに記入する。</p>	<p>※自分のことを大切な一人だと思えるように考え、意思決定することができる。（思考・判断・表現）【観察・発言】</p> <p>※教師の体験談を話し、意思決定に悩んでいる児童への手立てとなるようにする。</p> <p>○ありがたい自分について考え、話し合った内容を生かして意思決定している。（思考・判断・表現）【観察・振り返りシート】</p>